

ディスカッション ～学認、SPEDUに望むこと～

USE INNOVATIVE TECHNOLOGY.

1. SPのビジネスと学認

1. 大学を取り巻く環境の変化 (ID目線)

① 人手不足 / IT予算の削減への対応

- ・ 職員 (IT担当者) の不足
- ・ 教員の不足
- ・ 緊縮予算での既存サービス品質の維持・向上

COVID-19

② 在宅学習・業務の普及

③ クラウド利用の広がり

- ・ 物理的境界の崩壊
- ・ ゼロトラスト・セキュリティ

④ 大学DXの推進

- ・ ノーコード、ローコード
- ・ 他大学とのDXノウハウの共有

⑤ 単位互換の推進

- ・ デジタルバッジ
- ・ 授業 (教員) の共有

⑥ オープンサイエンス、即時OA化への対応

- ・ GakuNinRDM: 組織をまたいだ研究者間での研究データの共有
- ・ JAIRO Cloud: 論文への即時 & リーズナブルなアクセス環境

⑦ スマートキャンパスの推進

- ・ モバイル学生証
- ・ オフライン検証
- ・ 学内・学外 (社会インフラ) 利用

変化に対応したセキュアで
便利な世界を実現するための
トラストフレームワークの提供

変化に柔軟に対応するための
サービスを提供する

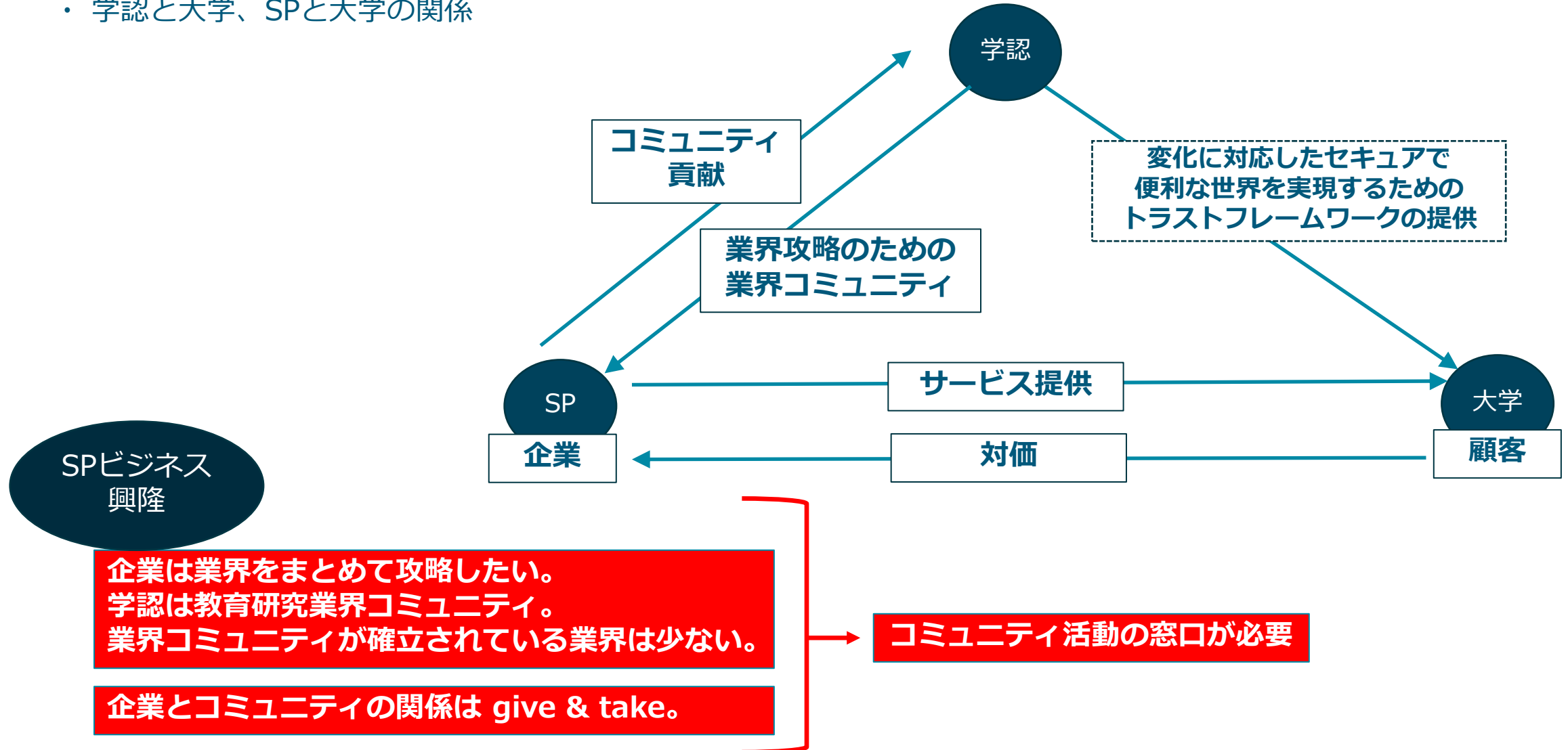
SPビジネス
興隆

学認が変化の源泉の場合
がある

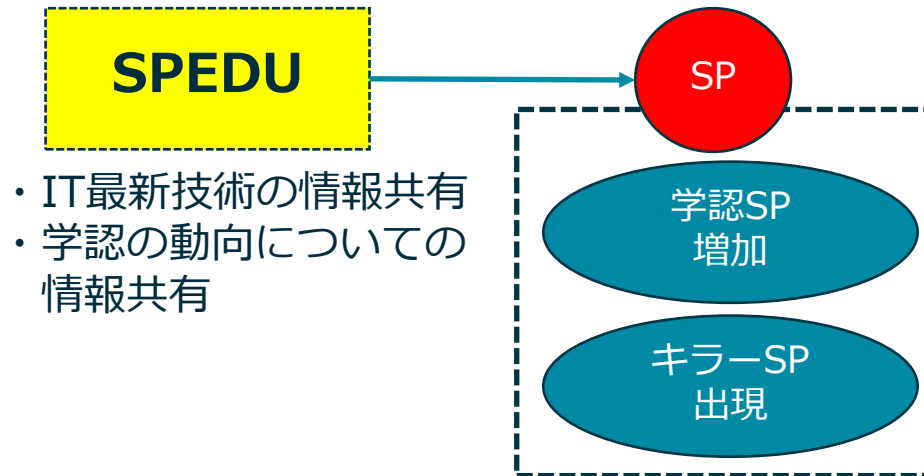
学認の動向を知る必要がある

1. SPのビジネスと学認

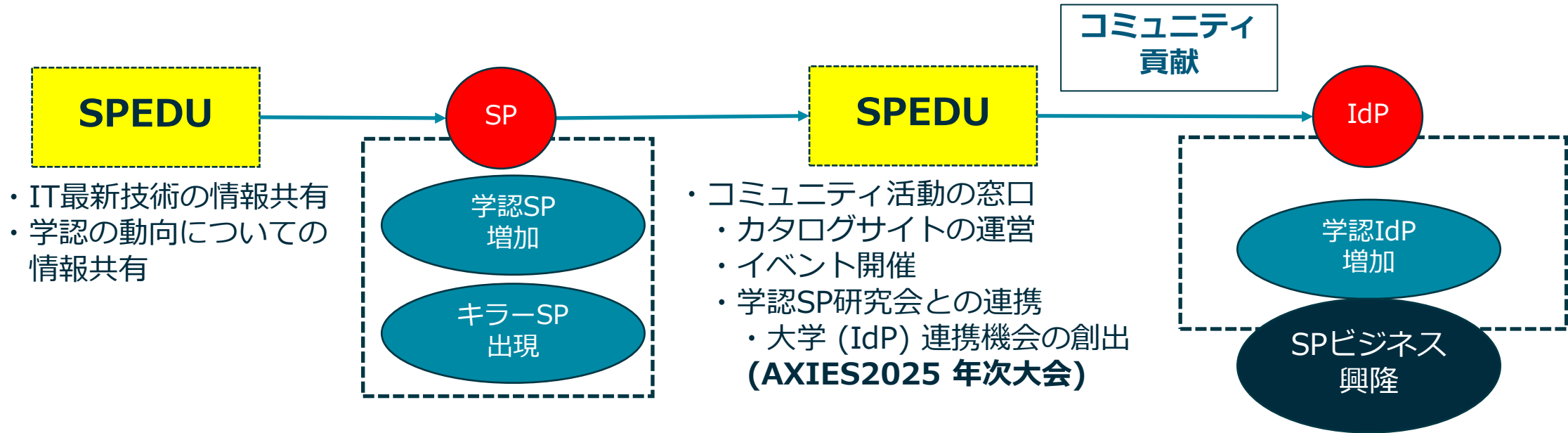
- 学認と大学、SPと大学の関係



2. SPのビジネスとSPEDU



2. SPのビジネスとSPEDU



2. SPのビジネスとSPEDU、学認

- ① 学認というコミュニティに対しての貢献、
SPとしてのコミュニティ活動にはどのようなものがありますか？
- ② このようなロジック (アプローチ)、SPEDUの試みについて
ご意見をください。
SPEDUに求められる活動は？
- ③ SPビジネスの観点から、学認に対してのご要望をください。